

講義名	流通・マーケティング演習(M2)		
講義コード	13504	授業形態	
担当教員	白 貞壬	開講期・曜日・時間	通年 月曜日 3時限

学部・学科	演習分野
流通科学研究科 流通・マーケティング分野	流通システム, 流通の国際化

概要説明

流通・マーケティング研究分野での研究・教育にあたっては、流通システムの構造や変動、また企業のマーケティング行動をミクロとマクロ、あるいはグローバルな視点から読み解く知識・能力が求められる。本講義では、流通・マーケティング研究分野における研究を遂行していくにあたり、その基礎となる知識・能力を形成することを目的とする。この目的を遂行するために、各受講者はこうした知識・能力をより高次のものとするために必要な課題を選定し、文献レビューと議論を重ねる。そうすることで、各受講者は研究・教育を遂行していくために求められる基礎力を形成することを目指していく。

主な卒業論文のタイトル

【2025年度 修士論文タイトル】

- ・「店舗体験が消費者の価値知覚と行動意向に及ぼす影響：ハードオフ台湾を事例として」
- ・「中国市場における日系外食ブランドのCOO手がかりが真正性知覚と知覚価値に及ぼす影響」
- ・「ステークホルダーにおける原産地表示の可視性と消費者意思の不確実性に関する研究」

【2024年度 修士論文タイトル】

- ・「訪日観光客の再訪意図に関する研究：香港人の新奇性欲求を中心に」
- ・「スシローのグローバル展開におけるサプライチェーンの最適化と競争力に関する研究：香港市場における成功要因の分析」
- ・「ドン・キホーテのアジア市場戦略：商品調達と海外展開を中心に」
- ・「中国二トリのマーチャンダイジングに関する研究」

教員からの要望

流通・マーケティング研究分野における研究・教育を進めていくための基礎として、流通システムの構造や変動、また企業のマーケティング行動をミクロとマクロ、あるいはグローバルな視点から読み解いていくための、より高次の知識を身につけるようにする。

流通・マーケティングに関する諸論点の理解のもと、修士課程における研究を遂行していくためのより高次の能力が身につけることができる。

選考方法

研究計画書を提出してもらい、面談の結果、合格通知を出す。

評価方法

下記の項目を中心に総合的に評価する。

- ・ 授業中の課題レポート (40%)
- ・ 議論への参加度 (30%)
- ・ 議論の内容 (30%)

教員英字氏名	研究室
JUNG-YIM BAEK	3棟504号室

最終学歴

大阪市立大学大学院経営学研究科後期博士課程修了

学位

博士(商学)

主な研究活動・社会活動・研究業績

主な研究活動(学会活動)

- ・ 小売国際化研究
- ・ 有機農産物の流通システムに関する研究

新しく申請中の科研(基礎研究C, 分担者)が採択できれば商業から社会学まで含めた形で世界の有機農産物市場の比較を本格的に進めていきたい。今後6月に行われる第75回商業学会全国大会での単独報告が決まっている。

主な社会活動

- ・ 大阪市大規模小売店舗立地法審議会会長
- ・ 神戸のまちの魅力を考える会の世話人

主な研究業績

【講演】

- ・ 「小売業のグローバル・イノベーション」『京都大学経済学研究科公認セミナー』2025年1月20日(京都大学)

【学会発表】

- ・ 「有機農業100万%はどうすれば可能になるのか：アジアの有機農業と比較して」単独発表, 日本商業学会第75回全国研究大会, 6月8日(日), 大阪公立大学
- ・ 「専門店の国際展開と二トリの経験」単独発表, 日本流通学会第147回関西・中四国部会2024年7月(関西大学)
- ・ "Why Has Japan's Organic Produce Market Not Developed? An Explanation from a Macromarketing Perspective," 共同発表 (Tsukasa Kato, Jung-Yim)

趣味・特技

所属

商学部 マーケティング学科

所属学会

- ・ 日本商業学会
- ・ 日本マーケティング学会
- ・ 日本流通学会

専門分野

- ・ 小売国際論分野
- ・ 流通システム論分野
- ・ アジア流通論分野

担当科目

- ・ 論文作成方法論研究
- ・ 流通システム原理特論
- ・ 流通企業経営特論

備考

実務経験の有無及び活用